

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 「農業経営管理支援事業」の取り組み

JA名 土佐あき（高知県）

<p>1 動機 (経緯)</p>	<p>農業を取り巻く厳しい状況が続く中、組合員の農業経営の悪化が懸念されている。経営状況が悪化しつつある組合員に対し、早い段階で経営改善に向けた支援を実施することにより、組合員の農業経営の健全化を図ることを目的とし、支援を行ってきた。</p> <p>JA 土佐あき債権管理委員会で査定された、債務者区分「要注意先」「破綻懸念先」を中心に実施してきた。</p> <p>H19～H25 年度 10 名（支援対象者）</p>
<p>2 概要</p>	<p>支所・出張所等、営農指導員、安芸農業振興センターで構成される地区チーム会(毎月 1 回)を開催し、必要に応じて個人面談を行い、支援対象者の栽培・経営状況を把握している。</p> <p>地区チーム会における支援活動の進捗状況確認のほか、支援対象者の追加、継続、終了などの意思決定を行う機関とし位置づけている（経営改善支援プロジェクト会）。</p> <p>経営改善支援プロジェクト会からの提案内容を協議し、農協としての組織決定を行う（経営改善支援委員会）。</p> <p>支援対象農家には営農ローンへの利子補給あり。</p>
<p>3 成果 (効果)</p>	<p>購買未収金や貸付金が徐々にではあるが減少している。振興センターや営農指導員、経済担当者による営農技術指導を行うことで収量が上がり収入が増加した対象者もいる。</p>
<p>4 今後の 予定（課題）</p>	<p>支援終了後も一定の技術レベル等を維持できるよう営農指導を行う。また、支援を目的とした融資や利子補給等も実施していく必要がある。</p>